

散策「頼朝の杜と芦名の運慶仏拝観」

2023 年 2 月 7 日実施 講師 大貫昭彦氏

逗子駅→浄楽寺→森戸海岸→森戸神社→鐙摺城→逗子駅

春の訪れが一足早い葉山、横須賀芦名を 16 名で訪ねました。



浄楽寺本堂前で記念撮影

浄楽寺では収蔵庫に収められた運慶仏 5 体を拝観しました。手を合わせ座って拝観した阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩の優しいまなざしに吸い寄せられるようで、心に安らぎを感じます。脇の不動明王と毘沙門天は力強いお姿でした。



その後バスで森戸海岸まで移動。森戸神社まで海岸を散策しました。
うっすらと富士山も見えました。

海辺からみそぎ橋を渡り森戸神社江へ。

源頼朝創建の森戸神社近辺は、古くから景勝地として知られ、神社脇には多くの記念碑があります。中には石原裕次郎を偲ぶレリーフ（碑文は石原慎太郎筆の詩）もあり、裕次郎灯台も見えます。



三浦氏の居城であった鑑摺城址へは、軍見山（高さ約 25 メートル）の山登りです。途中からは手すりもない急峻な細い山道です。

頂上に城郭遺構は残っていませんが、相模湾に突出した地形で、防御機能を持っていたと思われます。下りは互いの間隔をあけて、1 歩 1 歩慎重に下りました。

先頭を歩かれる大貫先生の足の軽やかさに感心することしきりです。

